

## 新校名は 「常陸大宮市立御前山小学校」 に決定

平成21年4月の開校に向け、現在建設工事が進められている御前山地域の新しい小学校の名称が「常陸大宮市立御前山小学校」に決定されました。

御前山小学校の開校にあたっては、(仮称)常陸大宮市立御前山小学校開校準備委員会(以下「委員会」)を設置し、平成19年11月から新校の開校に向けて学校名、校歌、校訓、校章、通学に関する事項等について協議や調整を行っています。その中で、新しい学校名の候補の選定については公募によるものとし、5月1日から5月31日にかけて御前山地域に在住・在勤する小学生以上の方を対象に募集を行いました。委員会では、応募された303件(うち有効267件、無効36件)のうち応募件数の多かった上位3件から、出席委員全員の賛成を得た「御前山小学校」を新しい学校名の候補として選定し、市教育委員会へ報告しました。

そして、第3回市議会定例会において「常陸大宮市立学校設置条例の一部を改正する条例」が可決され、正式に学校名が決定されました。

## レジ袋削減運動

9月24日、市内スーパー出入口付近で、ヤッホーふれあいの会(木村勉会長)と市関係者がレジ袋削減運動を実施しました。

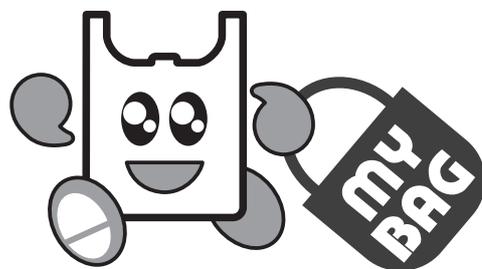
当日は、啓発品を配布しマイバッグ利用の呼びかけをするとともに、持参率調査を行いました。

結果は調査対象者157人中、マイバッグ持参者は50人で、持参率は32%でした。

- 買い物をする際のポイント
- 1 マイバッグを持参する
  - 2 包装を断る
  - 3 リサイクル商品を選ぶ
- 今回調査を行ったスーパーのようにマイバッグの持参を推進し、レジ袋を使用しなかった方には特典を用意しているとあります。



小さな行動の積み重ねがごみの減量化につながっていきます。まずは私たち一人ひとりの意識から、限りある資源の有効活用とごみの減量に努めましょう。



## レジ袋を削減する運動

## なぜマイバッグなのかな？

レジ袋は合成樹脂であり石油から作られ、レジ袋1枚につき、約20mlの石油が使われています。また、レジ袋を1枚使わなければ二酸化炭素の排出を61g減らすことができます。

レジ袋を使用しないことは石油資源の節約やごみの減量化、地球温暖化につながります。

## 全国抜刀術大会で

## 剣誠会が2部門制覇

「第1回出羽の関ヶ原・長谷堂合戦鎮魂全国抜刀術大会」が9月28日、山形県山形市の本沢小体育館で開催されました。

抜刀術とは正しい刀法により真剣で巻藁を斬り、その技を競うものです。

この大会は神刀流主管のもと、流派及び連盟を問わず、個人戦・団体戦が行われました。

個人戦試斬の部において、剣誠会(藤田久男会長)の藤田久男氏(大宮地域在住)が1部門において優勝。

また、他1部門においても同会会員が優勝し、個人戦3部門中2部門を制覇する快挙を成し遂げました。

現在、大宮福祉センター、山方柔剣道場で活動中です。

※剣誠会：NPO法人日本抜刀道連盟公認支部



▲報告に訪れた剣誠会の方々  
(右から2番目藤田氏)

## 第2回ふるさと探検隊

今年度第2回目の「ふるさと探検隊」が10月18日に行われました。

この催しは地域の将来を担う子どもたちに、市内農村部の探検や農業施設の見学、農作業体験等を通じて、地域への愛着や農村が有する大切な役割を学んでもらうために実施しています。

今回は、市内の小学生を中心に、87人の参加者が緒川に設置されている堰や魚道、さらに田んぼへとつづく水路を探検し、茨城県常



▲秋晴れの下、田んぼを歩いて探検しました



陸太田土地改良事務所より施設の役割等について説明を受けました。

また、前回、

参加者全員で種まきをした

そばの刈取や

大根の収穫、

そして、さつ

まいも掘りな

どの農業体験

を地元農家の

指導により行いました。

お昼には、掘ったさつまいもを網で焼き、常陸大宮市産の新米を竹筒で炊いて、おいしく食べることが出来ました。



▲竹筒で炊いたご飯も上手に炊けました

今回刈取ったそばについては、次回計画されているそば打ち体験に使用することとなっています。きつとおいしいそばが打ちあがることでしょう。

## 第63回国民体育大会

### ゴルフ競技に出場

9月に大分県で開催された第63回国民体育大会（チャレンジ！おおいた国体）のゴルフ競技に、常陸大宮市立第二中学校3年生の木村紗奈さんが、茨城県代表選手3人の1人として出場しました。

女子のクラスは9月11日から13日にかけて、大分県臼杵市の臼杵カントリークラブで開催され、木村さんは2日間の36ストロークプレー競技に出場。

茨城県チームは、ゴルフ競技男女総合成績第1位に輝きました。



## いっしょにまちづくり

### ～森を活かしたまちづくり～

常陸大宮市森林組合

本橋文子さん（小舟在住）

市と茨城大学の連携事業の一環として、9月27日、茨城大学構外学習事業「大宮キャンパス」が「おがわふれあいの森」の市有林で開催され、森林組合が作業の指導をさせていただきました。



当日は、天候にも恵まれ、茨城大学の学生と先生11人が参加し、前半は、大鎌、鉦鎌、刈払機を使用して下刈作業を行い、後半は、森林組合職員がスギの立木の伐採を実演説明した後、実際にチェーンソーを使って、立木の伐倒から玉切り、枝落しを行いました。手順通りにチェーンソーとクサビで木を倒した瞬間、学生さんから「気持ちいい！」の声上がり、周囲から拍手が湧きました。林業の機械を使うのは初めての方も多かったと思いますが、皆さん熱心に作業を行い実習を終えました。体験を通して、若い人たちにもっと林業への関心を深めていただけたらと思います。

※市と茨城大学とは相互に連携協力して「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。



すぐ対応課発足1カ月

10月1日すぐ対応課が設置されて1カ月がたちました。1カ月間の相談・出動件数と相談事例を紹介いたします。

相談内容	相談件数	出動件数
市道の補修	72件	61件
U字溝等修理	12件	11件
側溝等清掃	1件	1件
蜂の巣の除去	136件	134件
動物死体処理	9件	9件
その他	46件	17件
合計	276件	233件



すぐ対応課は

- ・壊れた側溝の補修
- ・市道の補修（軽微なもの）
- ・動物の死骸の処理
- ・スズメ蜂の巣の除去
- ・相談したいことがあるが担当課がわからない等の相談に対応します。お気軽にお電話ください。

■すぐ対応課■ ☎52-4919

※すぐ対応課はなんでもやる課ではありません。

相談内容の一例

家の軒下にスズメ蜂の巣があり、子どもがいるので危険なため早急に除去してほしい。



▲作業前



▲作業後

水道管の防寒対策について

これから寒さが厳しくなってきますが、水道管の防寒対策は万全でしょうか？気温が下がると、蛇口や水道管、水道メーター器が凍って水が出なくなったり、破裂したりすることがあります。ご家庭でのちょっとした注意で、被害を防ぐことができますので今のうちに防寒対策を行いましょう。

メーターボックスを保温

メーターボックス内には、発泡スチロールや布切れ等の保温材を入れて水道メーター等を保護してください。また上にはダンボール等を載せて保温してください。



給水管や蛇口を保温

気温がマイナス4℃以下になると、水道の凍結による漏水事故が大変多くなります。凍結を防ぐためには、給水管や蛇口に保温材や布切れ等を巻き、上からビニールテープ等ですき間なく巻いてください。



凍結してしまったら…

凍結して水が出ない時には、蛇口を開け、凍った部分にタオルか布をかぶせ、蛇口の方からぬるま湯をゆっくりとまんべんなくかけてください。熱湯を急にかけると、ひび割れや破裂をおこすことがあります。



水道管が破裂してしまったら…

水道管が破裂したときはメーターボックス内の止水栓を止めてください。止水栓を閉めても止まらない場合には、破裂した部分に布やテープを巻き応急処置をした後、市指定給水装置工事業者へ修理（有料）を依頼してください。

問い合わせ先

水道課 ☎52-0427 下水道課 ☎53-7250  
 各支所経済建設課  
 山方 ☎57-6813 美和 ☎58-3852  
 緒川 ☎56-3994 御前山 ☎55-2115